

■殺虫剤：農業用

ピレスロイド系

ガードベイト® A

登録番号：20919

毒性：—

消防法：—

有効年限：4年

成分 ベルメトリン……0.1%

物理的・化学的性状 淡赤色粒状 径3mm 長さ3～10mm

包装：2kg×8

◆特長

- ネキリムシ類の誘引物質を配合し、優れた食毒効果を発揮します。
- ベイト剤なので、土壌表面や作物の株元散布で効果を示します。

◆適用と使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ベルメトリンを含む 農業の総使用回数	
はくさい	ネキリムシ類	3kg/10a	は種時～生育初期	5回以内	株元散布	5回以内	
ごぼう				4回以内		4回以内	
だいこん				3回以内		3回以内	
オクラ			生育初期	5回以内		5回以内 (株元灌注は 2回以内)	
キャベツ				5回以内		5回以内	
レタス				3回以内		5回以内	5回以内
ブロッコリー						3回以内	3回以内
カリフラワー						3回以内	3回以内
なす				1回		1回	1回
トマト				5回以内		5回以内	5回以内
ミニトマト			5回以内			5回以内	
ピーマン			5回以内			5回以内	
いちご			5回以内			5回以内	
たまねぎ			4回以内	4回以内		4回以内	
かんしょ				4回以内		4回以内	
やまのいも			5回以内	5回以内		5回以内	
さといも	5回以内	5回以内					
とうもろこし	3回以内	3回以内	3回以内				
ばれいしょ		3回以内	3回以内				
てんさい		3回以内	3回以内				
なばな類		3回以内	3回以内				
ねぎ		3回以内	3回以内				
わけぎ		3回以内	3回以内				
あさつき		3回以内	3回以内				
豆類(未成熟)		3回以内	3回以内				
そらまめ		3回以内	3回以内				
だいず		3回以内	3回以内				
きゅうり	3回以内	3回以内					

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む 農薬の総使用回数
かぼちゃ	ネキリムシ類	3kg/10a	生育初期	5回以内	株元散布	5回以内
ほうれんそう しゅんぎく				2回以内		2回以内
ズッキーニ			生育初期 但し 収穫開始7日前まで	3回以内		6回以内 (乳剤は3回以内、 粒剤は3回以内)
にんじん			生育初期	5回以内		5回以内
もりあざみ			但し収穫7日前まで	3回以内		3回以内
エンサイ			生育初期 但し収穫14日前まで	2回以内		2回以内
飼料用とうもろこし (青刈り) ヤングコーン				4回以内		4回以内
葉しょうが			生育初期 但し収穫30日前まで			
しょうが			定植時～発芽期 但し収穫120日前まで			
エンダイブ			定植時 但し収穫21日前まで	2回以内		4回以内 (乳剤は2回以内、 粒剤は2回以内)
にんにく			生育初期 但し収穫90日前まで	4回以内		4回以内
かぶ			収穫3日前まで	3回以内		3回以内
にら にら(花茎)						
アスパラガス パセリ			収穫前日まで	2回以内		2回以内
はっか			収穫7日前まで	2回以内		2回以内
しそ						
とうがらし類			収穫30日前まで	3回以内		3回以内
食用おぼこ(種子) らっかせい						
いんちんこう			収穫90日前まで	4回以内		4回以内
びやくし			生育初期	6回以内		6回以内
花き類・ 観葉植物	定植時	1回	1回			
たばこ						

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)作物体上から作物の地際の表面に散布すること。
- (2)蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないこと。

- (3) ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- (4) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用することは、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (5) 取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1) 誤食などのないように注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 散布の際は、マスク、手袋などをする事。
また、粉末を吸い込んだり浴びたりしないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする事。
- (3) 犬、猫などのペット類や家畜、家禽等が誤食する恐れがあるので、食べる可能性のある場所での保管及び使用はしないこと。

◆魚毒性

この登録に係る使用方法では該当がない。